緩和: 温暖化の原因となる温室効果ガスの排出抑制

適応 : 気候変動の影響により既に現れている、あるいは、将来予測される被害の回避・軽減



これからは、温室効果ガスの排出を抑制する「緩和」の取組と、既に現れている、あるいは、将来予測される気候変動の影響による被害を回避・軽減する「適応」の両方を進めていく必要があります。



「緩和」と「適応」

の両方を考えて

いく必要があるの

ですね。



北海道気候変動適応計画

◆計画の位置付け

- ○道では、平成30年(2018年)12月に施行された「気候変動適応法」の趣旨を踏まえ、地域特性や社会情勢の変化などに応じて「適応」の取組を総合的かつ計画的に推進するために令和2年(2020年)3月に「北海道気候変動適応計画」を策定しました。
- ○今後は、次の4つの基本方針に基づき、「適応」に取り組み、「緩和」と「適応」の両輪で地球温暖化対策を推進していきます。

◆適応の取組に関する基本方向

1 本道の強みを活かす適応の取組の推進

- ●本道の地域特性を踏まえ、「産業」「自然環境」「自然災害」「生活・健康」 の4分野について重点的な取組を推進
- ●道の政策分野に適応の視点を組み込み、関係部局が連携した取組を推進

2 情報や知見の収集と適応策の検討

■国や関係機関と連携した適応に関する情報の収集・提供を行い、 適応策を検討

3 道民や事業者等の理解の促進

- ●対象者や事業種別等を踏まえた普及啓発や情報提供の推進
- ●事業活動における「気候リスク管理」、新たなビジネス機会と捉える 「適応ビジネス」の取組の促進

4 推進体制の充実・強化

- ●気候変動適法に基づく「地域気候変動適応センター」機能の確保を検討
- ●庁内組織「地球温暖化対策推進本部」を活用した適応策の展開

◆各主体の役割

追

- ●計画策定や地域気候変動適応センター 機能の確保を検討
- ●関係者と連携・協働した取組の推進
- ●道民や事業者等への普及啓発の実施

事業者

- ●「気候リスク管理」の 取組推進
- ●「適応ビジネス」の展開

道民

●適応への理解と関心 を深め、自ら実践

市町村

●区域内の適応の取組 の推進

民間団体

●道民に適応の取組を 広める活動

北海道気候変動適応センター

索

完整の危めに

その先の、道へ。北海道 Hokkaido. Expanding Horizons.

気候変動の影響への





について考えよう!

近年の異常気象の中には、地球温暖化による気候変動の影響と 指摘されるものがあり、気象現象を原因とする土砂崩れ、河川 氾濫による産業・経済活動への悪影響や、熱中症リスクの増加、 動植物の分布域の変化など影響が懸念されています。

こうした気候変動の影響に対処するためには、温室効果ガスの排出 抑制等を行う「緩和」とともに、影響を回避・低減する「適応」を進めること が重要になっています。





北海道環境生活部

※適応について詳しく知りたい方は、「北海道気候変動適応センター」(北海

変わりつつある気候



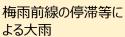
道内でも最近、異常な気象が頻発していますよね。



<北海道の気候の変化>



平均気温は 100 年あたり 1.63℃の割合で上昇、短時間強雨の発生回数は 30 年前と比べ 1.6





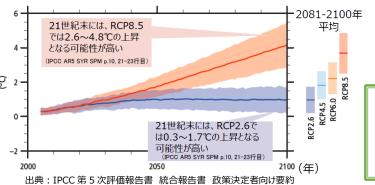
このような異常気象 は、地球温暖化が 要因の一つといわれ ています。



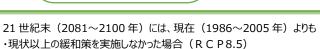
地球温暖化の原因となる温室効果ガスを減らした ら良いのではないでしょうか。

倍に増加、最深積雪は10年あたり5.3%の割合で減少

世界の平均地上気温変化予測(1986~2005年平均との差)



国際機関がまとめた報告書 では、温室効果ガスを減らす、 どのような対策をとったとしても 世界の平均気温は上昇し、 21 世紀末に向けて気候変動 の影響のリスクが高くなるとして



- 2.6~4.8℃上昇
- ・厳しい緩和策を実施した場合(RCP2.6) 0.3~1.7℃上昇

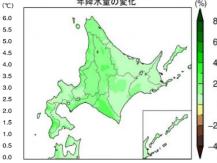


今後、北海道の気候はどう変わっていくのでしょうか。

例えば、21世紀末に、年平均気温は5.0℃程度上昇、大雨や短時間強 雨の頻度が増加、そして降雪量は各地域で減少すると予測されています。

北海道の気温・降水量の予測 (21世紀末と20世紀末の気候の差)





21世紀末 (2076~2095年) には、20世紀末 (1980~1999年) よりも、**年平均気温**は、おお むね5.0℃上昇し、夏日は年間約 52 日増加する と予測されています。

また、年降水量は、おおむね 10%増加し、大雨や 短時間強雨の頻度が増加すると予測されています。

出典:「北海道地球温暖化予測情報」(札幌管区気象台) ※温室効果ガス排出シナリオの RCP8.5 シナリオに基づく予測結果



このような気候の変動にどう対応していけば良いのですか?

温室効果ガスの排出を抑制する「緩和」だけではなく、気候変動の影響による被害を 回避・軽減する「適応」が必要です。

気候の変動によって、どんな影響が生じ、どう対応していけば良いのか見ていきましょう。





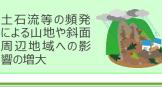
国民生活·都市生活





双方による都市域での気温上昇

周辺地域への影



洪水を起こしうる

長期化、深刻化

渇水が頻発化、



気候変動により生じると予測される影響(例)

気候変動によって、次の例示のように、わたしたちの身の回りに大きな影響が生じるおそれがあります。

生産適地が拡大したりと、経済発展のチャンスに繋がりうる影響も指摘されています。

農林水産業

自然災害·沿岸域

気温上昇による暑

対 熱対策経費の増加

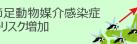
ブリ、スルメイカの分

布・回遊域の変化

豪雨災害や熱中症リスクが増加する一方、回遊域の変化によりブリなどの漁獲量が上がったり、ワイン用ブドウの

富栄養湖に分類され

るダムが増加



自然生態系

エゾシカ等の分布

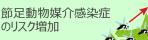




高山帯・亜高山帯の 植物種の分布適域 の変化や縮小

水環境·水資源

熱中症搬送者



産業·経済活動



自然災害に伴う 保険損害の増加



<最新の研究成果>

ヒトスジシマカの生息域の拡大

ヒトスジシマカ(デング熱等を媒介する 蚊)の生息域の北限は年平均気温が およそ 11℃以上の地域とほぼ一致して いますが、2000年代には東北北部に までその生息域の拡大が確認されてい



高山植物の変化

大雪山国立公園は豊富な積雪がつくりだ す融雪時期の違いが高山生態系の生物 多様性を生みだしています。

大雪山五色ヶ原は、1990年代前半まで エゾノハクサンイチゲの群生地でしたが、その 後衰退しました。その原因として融雪時期 の早期化と土壌の乾燥化が指摘されてい ます。



出典:「気候変動の観測・予測及び影響評価総合レポート 2018~日本の気候変動とその影響~」(環境省、文部科学省、農林水産省、国土交通省、気象庁)を基に作成。

生活に身近な適応策(例)



気候変動の影響に対して、身近にできる 適応策を紹介します。

これからは、みんなで適応策について考 えていく必要がありますね。



自然災害に備えよう!

雨が降る日が少なくなる可能性がある一方 で、一度に降る雨の量が極端に多くなったり 大型の台風が来る可能性があります。 災害にそなえるため、避難場所や避難経路 を調べておきましょう。



熱中症を予防しよう!

気温が上がることで、熱中症になる 可能性が増えます。暑い日は、水を こまめに飲んだり、外に出るときには 帽子をかぶったりしましょう。



虫刺されに気を付けよう!

気温が上がることによって、寒い地域に住めなかった 虫が、北上する可能性があります。デング熱という 病気を広める蚊の住める地域が北に広がっている ので、注意しましょう。



水を大切に使おう!

雨の降る日が少なくなる可能性があります。 普段から水を大切に使いましょう。



出典:「気候変動適応情報プラットフォーム」発行パンフレット (http://www.adaptation-platform.nies.go.jp/about/pamphlet/A4 pamphlet tekiou.pdf) を加工して作成